



# えひめ

## Contents

- ・空の日フェスタへ参加しました！
- ・現場日より 松山空港の工事が着々と進んでいます！
- ・地元小学校児童が東予港の工事現場を見学しました
- ・東予高校1,2年生が建設現場を見学しました
- ・地震を想定した港湾施設の被災調査訓練を実施しました
- ・「みんなの生活展2017」に出展しました！

東予港の工事状況（平成29年12月13日撮影）

## 年頭挨拶



新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。皆様にとって、昨年はどのような一年だったでしょうか。当事務所では、昨年、松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業の基幹施設で国が整備する水深13m岸壁と愛媛県が整備する2基目のガントリークレーンの供用を迎えることが出来ました。これも、当該事業の推進にご支援、ご協力賜りました皆様のお陰だと深く感謝しております。この場を借りて御礼申し上げます。引き続き、利用者の方々を始めとした皆様のご意見に耳を傾けつつ整備を進めて参ります。

今年は、東予港で整備していますフェリーやRORO船に対応した複合一貫輸送ターミナルの暫定供用を予定しております。この供用により大型フェリーの就航が可能となり、物流の効率化、産業活動の活性化に繋がるものと期待されます。予定通りの供用に向け関係者の皆様とともに全力で取り組みます。

近年、クルーズ需要が急激に増加しています。この状況を踏まえ、四国地方整備局では、昨年、「四国における瀬戸内海クルーズ検討会」を立ち上げ、クルーズ船寄港拡大の実現に向け取り組んでいます。その中で、具体的に検討する対象の一つに松山港を選定し課題と対応を整理したところです。今年は、それを行動に移す時です。関係機関と連携し、しっかり取り組みます。

また最近では極端な気象現象も多くなっています。昨年7月に発生した九州北部豪雨により海域へ流出した流木・漂流ゴミの回収を行うため、当事務所の海面清掃兼油回収船「いしづち」を周防灘海域へ緊急派遣しました。災害は何時何処で起こるか分かりません。その対応を迅速且つ確実に実行できるよう常に意識を高く持ち、取り組んで参ります。

当事務所では、港湾・空港に係る物流、人流、環境、賑わい、さらには防災、災害対応といった幅広い事業を実施していますが、我々を取り巻く環境も大きく変化しています。このような中で、地域に必要なことは何か、各事業に求められていることは何かなどを常に考え、それに対してスピード感を持って取り組み、時期を逸することなく応えることが、今まで以上に重要になっていると感じています。

今年は成年です。成年には勤勉で努力家という意味があるそうです。思うように進まないこともあろうかと思いますが、俊敏な動きで最後までボールを追いかける犬のように、目標に向け諦めずに走って行きたいと思えます。

今年も事務所一丸となって地域の皆様のお役に立てるよう全力で取り組んで参りますので、引き続きご理解、ご支援の程宜しくお願い致します。

皆様にとって今年も良き一年になりますように。

PS:左上の写真は、昨年11月19日に西条市で開催された第1回西条リレーマラソンでゴールしたところです。今年も色々な地域のイベントに参加したいと思っております。

## 空の日フェスタへ参加しました！



平成29年11月18日(土)、松山空港では「空の日」の関連行事として「空の日フェスタ2017」が開催され、当事務所も事業内容の紹介、松山空港の模型展示、風洞実験の実演を行いました。

風洞実験では、飛行機が浮かび上がる仕組みを当事務所の職員が解説し、不思議そうに子どもたちが耳を傾けていました。松山空港を2500分の1に縮小した模型展示では、普段見ることのできない様々な角度から空港周辺の風景を眺めてもらい、普段なにげなく利用している空港に興味を持って頂ける良い機会となりました。

当事務所のブースの他にも、パイロットの制服を着て記念撮影できるコーナーや屋外では駐機場で使われている車両の体験乗車ができるコーナーがあり、来場した子どもたちは目を輝かせ、イベントは終日賑いました。



松山空港模型の展示



風洞実験装置の展示



体験乗車

## 現場だより

## 松山空港の工事が着々と進んでいます！

松山空港は、国内線8路線、国際線2路線の就航路線を有する中四国で最も利用されている空港です。当事務所では、整備後から年数が経過している施設の老朽化対策や、大規模地震発生時に空港が緊急物資・人員輸送の拠点となるために耐震対策を実施しています。

現在は、老朽化対策としてエプロンの舗装工事、耐震対策として松山空港を横断している地下道の補強工事、護岸の耐震補強工事を実施しています。

エプロン舗装は、本来飛行機が通るルートを工事しています。そのため、飛行機の通るルートを変えるなど工夫をし、空港の運営に支障がないよう工事を進めています。

地下道の補強工事と護岸の耐震補強工事では、大規模地震の際に滑走路が崩れて、飛行機の離発着に影響を及ぼす可能性があるため、補強工事を行っています。

引き続き、今年度中の完成を目指して、安全第一で工事を進めていきます。



空港のエプロン舗装工事状況  
(既設舗装の撤去)



護岸の耐震補強工事



地下道の補強工事

## 地元小学校児童が東予港の工事現場を見学しました



### 【開催日と見学した小学校】

- ・平成29年11月20日(月) 西条市立小松小学校5年生 57名
- ・平成29年11月29日(水) 西条市立三芳小学校4年生 17名



現在、整備を進めている東予港複合一貫輸送ターミナルの工事現場にて、西条市内の小学校2校を対象に現場見学会を開催しました。この見学会は、地元で身近にある東予港の役割について学ぶことをテーマに、小学校の社会科授業の一環として開催したものです。

見学会は、フェリー船内にて東予港の役割と事業概要について説明を受けた後、船内と工事現場を見学しました。

船内見学では、客室を見た後、普段見ることのできない操舵室の見学を行いました。操舵室では各設備についての説明があり、児童はとても関心を持っていました。

工事現場見学では、体験学習として児童の代表がバックホウに乗り、オペレーターの指示のもと、バックホウ操縦体験を行いました。それをみていた児童からは、大きな歓声があがりました！

見学会最後の質疑応答では、「今回の工事で、港はどのように変わりますか?」、「いつ頃完成しますか?」などの質問があり、港に興味を持ってもらうことが出来ました。



東予港の役割と事業概要説明



工事概要の説明



バックホウの操縦体験

## 東予高校1,2年生が建設現場を見学しました



平成29年11月14日(火)、愛媛県立東予高校 建設工学科1,2年生52名が東予港複合一貫輸送ターミナル整備事業の工事現場を見学しました。これは、一般社団法人愛媛県建設業協会と松山港湾・空港整備事務所が連携し、愛媛県内の高校生を対象に教科書では学ぶことのできない実際の工事現場を直接見てもらい、建設業に興味を持ってもらうことを目的に実施しているものです。

今回の現場見学会は、東予港複合一貫輸送ターミナル整備事業の概要説明を受けた後、実際の工事現場を見学しました。質疑応答では、作業手順や工法についての質問があり、港湾工事への興味の深さが伝わってきました。

見学会の最後には、生徒から「今後の進路選択の参考にしたい」との意見もあり、みなとの整備に良い印象を持って頂きました。



女性職員・若手職員による工事の概要説明



工事現場見学

# 地震を想定した港湾施設の被災調査訓練を実施しました。

平成 29 年 11 月 1 日、「世界津波の日」の一環として、南海トラフを震源とする巨大地震を想定し、災害時における海上からの緊急物資輸送ルートの早期確保が可能となるよう、港湾施設の被災調査訓練を松山港で実施しました。

岸壁上に GNSS 測量機を設置し、岸壁変形程度を確認することで港湾施設の点検・使用可否の判定を行う訓練を実施しました。

また、海上ではナローマルチビーム音響測深機を用いた沈下物の探査を行い、航路や泊地における沈下物の探査訓練を実施しました。

今回の訓練を通して、計測機器の操作習熟を行うとともに、訓練によって確認された諸課題を抽出し、今後災害発生時の速やかな対応へ繋げていきたいと考えております。



GNSS 測量機設置状況



GNSS 測量機での観測実施状況



ナローマルチビーム音響測深機の設置状況



ナローマルチビーム音響測深機での観測実施状況

## 「みんなの生活展 2017」に出展しました！

開催日 平成 29 年 10 月 14 日 (土)・15 日 (日)

開催場所 松山市大街道商店街 (1・2 丁目)

「みんなの生活展」は消費生活のあり方、環境への配慮、心身の健康についてよく考え、市民・行政・事業者がお互い力を合わせてこれらの問題に取り組み、「安全・安心に暮らせる社会」を実現することを目的に松山市主催のもと毎年開催されているものです。今年は「みんなの笑顔が広がるまちづくり～考えよう私たちにできること～」と題して、64 の団体が出展しました。

松山港湾・空港整備事務所では、海洋環境整備事業を紹介するパネルや海面清掃兼油回収船「いしづち」の模型、海洋環境整備事業についてのスライドショー、松山港の整備を説明するパネルなどを展示しました。

お越し頂いた方々からは、「船を使って海のごみを回収しているなんて知らなかった。」「海をきれいにしておく仕事頑張って下さい。」など、たくさんのお声を頂きました。

クイズに挑戦！



「いしづち」の仕組みをご紹介！！ みきゃんも応援に来てくれました！

### 編集後記

春に入省し、気がつけばもう冬です。2017年は春と冬しかなかったのかと思う程月日の流れを早く感じました。これも毎日が充実しているせいなのでしょうか。。。私事ですが、11月に北海道に行きました。人生初の北海道でウキウキしてたせいか、慣れない凍った地面で滑ってけてしまいました。それも今では、良い思い出です。

企画調整課 中矢



北海道庁雪景色



### < 事務所のご案内 >

#### ■松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058 松山市海岸通2426-1 【TEL】089-951-0161 【FAX】089-946-8010

#### ■東予港出張所

〒799-1353 西条市三津屋南2-15 【TEL】0898-64-3650 【FAX】0898-65-5187

Coastline えひめ No.33 編集・発行 (紙面編集/須賀)

 国土交通省四国地方整備局  
松山港湾・空港整備事務所

【e-mail (企画調整課)】 pa.skr-mtjm-i88s3@mlit.go.jp  
【URL】 <http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/index.html>  
【海とみなとの相談窓口】 0120-497-370 (全国共通フリーダイヤル)  
受付時間 9:30~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)